



本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

T. Hashimoto  
09/960, 344  
Filed 9/24/01  
Q66385

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 9月25日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-290036

出 願 人

Applicant(s):

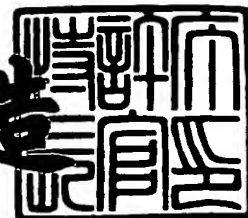
日本電気株式会社

RECEIVED  
NOV 02 2001  
Technology Center 2100

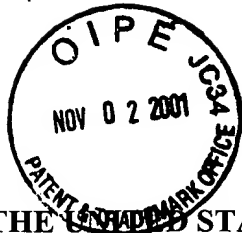
2001年 7月 3日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3062343



GP/2176

**PATENT APPLICATION**  
**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re application of

Tamae HASHIMOTO

Appln. No.: 09/960,344

Group Art Unit: 2176

Confirmation No.: 4620

Examiner: Unknown

Filed: September 24, 2001

**RECEIVED**  
NOV 07 2001  
Technology Center 2100

For: DOCUMENT TRANSMISSION APPARATUS AND STORAGE MEDIUM IN WHICH  
PROGRAM FOR DOCUMENT TRANSMISSION APPARATUS IS STORED

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of the priority document on which a claim to  
priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to  
acknowledge receipt of said priority document.

Respectfully submitted,

J. Frank Osha  
Registration No. 24,625

SUGHRUE MION, PLLC  
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.  
Washington, D.C. 20037-3213  
Telephone: (202) 293-7060  
Facsimile: (202) 293-7860

Enclosures: Japanese 2000-290036

Date: November 2, 2001

【書類名】 特許願

【整理番号】 42010227

【提出日】 平成12年 9月25日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00 107  
G06F 13/00 351

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

【氏名】 橋本 珠枝

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100064621

【弁理士】

【氏名又は名称】 山川 政樹

【電話番号】 03-3580-0961

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006194

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9718363

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 文書送信装置及びそのプログラムを記憶した記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 文書データを作成する文書データ作成部と、  
前記文書データに付する送付票を作成する送付票作成部と、  
前記文書データに前記送付票を付して電子的に送信する送信部とを備えた文書送信装置において、  
前記送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部と、  
この追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する操作部と  
を備え、  
前記送付票作成部は、  
前記追加情報記憶部から選択された前記任意の追加情報が追加挿入された送付票を作成する

ことを特徴とする文書送信装置。

【請求項 2】 前記操作部は、  
前記追加情報記憶部に記憶された追加情報を表示する表示部と、  
この表示部に表示された任意の追加情報を選択する選択入力部と  
を有することを特徴とする請求項 1 記載の文書送信装置。

【請求項 3】 前記追加情報記憶部に新たな追加情報を記憶させる追加情報登録手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の文書送信装置。

【請求項 4】 文書データを作成する文書データ作成部と、  
前記文書データに付する送付票を作成する送付票作成部と、  
前記文書データに前記送付票を付して電子的に送信する送信部とを備えた文書送信装置において、

前記送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する機能と、

選択した前記任意の追加情報を前記送付票作成部において作成される前記送付票に追加挿入する機能と

をコンピュータに実現させるプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能

な記憶媒体。

【請求項 5】 前記任意の追加情報を選択する機能は、  
前記追加情報記憶部に記憶された追加情報を表示部に表示する機能と、  
この表示部に表示された任意の追加情報を選択する機能と  
からなることを特徴とする請求項 4 記載のプログラムを記憶したコンピュータ  
読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 6】 前記追加情報記憶部に新たな追加情報を記憶させる機能をコ  
ンピュータに実現させる請求項 4 又は 5 記載のプログラムを記憶したコンピュ  
ータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、文書送信装置に係り、特に送付票を自動生成して文書と共に送信可  
能な文書送信装置とそのプログラムを格納した記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、スキャナ等により原稿を読み取って得た文書データ等を公衆網を介  
してファクシミリ装置に送信したり、電子メールにしてインターネット又はロー  
カルエリアネットワーク（以後、LANと記す）を介して相手端末に転送する文  
書送信装置が知られている。このような文書送信装置を用いてファクシミリ装置  
や相手端末に文書情報を送る際には、文書情報自体を送るのに先立ち「送付票」  
を送るのが一般的である。通常、送付票には宛先、送信元、送信枚数、日時、用  
件（題目）などが記されている。送信者は、送付票を自ら紙で作成し、作成した  
送付票を実際に文書画像の先頭頁の前に挿入してスキャナ等にセットし送信して  
いる。

【0003】

近年、この送付票を自動生成することで、利便性や操作性を向上した文書送信  
装置が提案されている。例えば、特開平 1 1 - 2 1 5 3 3 9 に開示されている文  
書送信装置は、読み取った原稿を送信する際に宛先、日時、送信枚数及び送信者

などが記載された送付状文書を自動生成して一緒に送信するように構成されている。このような文書送信装置は、文書を送信する際に毎回必要な情報を記載した送付票を自動生成して送信する機能を備えているので、利便性や操作性を向上することができる。

#### 【0004】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の文書送信装置には、送付先への連絡事項などのような毎回必要ではないが、頻繁に使用される文言のような情報を自動生成した送付票に記載することができないという問題があった。

本発明の目的は、自動生成される送付票に使用頻度の高い文言のような情報を選択的に記載することのできる文書送信装置を提供することにある。

#### 【0005】

##### 【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するために、本発明は、文書データを作成する文書データ作成部と、文書データに付する送付票を作成する送付票作成部と、文書データに送付票を付して電子的に送信する送信部とを備えた文書送信装置において、送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部と、この追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する操作部とを備え、送付票作成部は、追加情報記憶部から選択された任意の追加情報が追加挿入された送付票を作成するようにしたものである。このように、本発明では、送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部と、この追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する操作部とを備え、送付票作成部が追加情報記憶部から選択された任意の追加情報を追加挿入した送付票を作成するようにしたので、自動生成される送付票に使用頻度の高い文言のような情報を選択的に記載することができる。

#### 【0006】

この場合、操作部の一構成例は、追加情報記憶部に記憶された追加情報を表示する表示部と、この表示部に表示された任意の追加情報を選択する選択入力部とを有する。これにより、表示された任意の追加情報を選択することができるので、送付票への追加情報の挿入が簡単になり、利用者の利便性や操作性を向上する

ことができる。

また、本発明の文書送信装置の一構成例は、追加情報記憶部に新たな追加情報を記憶させる追加情報登録手段をさらに備えている。これにより、新たな追加情報を記憶させることができるので、必要とする追加情報を利用者が登録することができる。

#### 【0007】

また、本発明の記憶媒体は、文書データを作成する文書データ作成部と、文書データに付する送付票を作成する送付票作成部と、文書データに送付票を付して電子的に送信する送信部とを備えた文書送信装置において、送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する機能と、選択した任意の追加情報を送付票作成部において作成される送付票に追加挿入する機能とをコンピュータに実現させるプログラムを記憶している。この場合、任意の追加情報を選択する機能は、追加情報記憶部に記憶された追加情報を表示部に表示する機能と、この表示部に表示された任意の追加情報を選択する機能とからなる。また、本発明の記憶媒体の一構成例は、追加情報記憶部に新たな追加情報を記憶させる機能をコンピュータに実現させるプログラムをさらに記憶している。

#### 【0008】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。図1は、本発明の実施の形態に係る文書送信装置の構成を示すブロック図である。同図において、この文書送信装置1は、文書データ作成部110と、データ記憶部120と、操作部130と、送付票作成部140と、送信部150と、追加情報登録手段160とを備えている。また、この文書送信装置1は、図2に示すように、公衆網2とLAN3とに接続されており、LAN3にはWebビューワーを有するパーソナルコンピュータ4（以後、PCと記す）及びHTTP（Hyper Text Transfer Protocol）サーバ5が接続されている。

#### 【0009】

ここで、この文書送信装置1は、文書データと送付票をファクシミリデータに

変換して公衆網 2 に接続し、相手ファクシミリへ送信するファクシミリ送信機能と、文書データと送付票を電子メール形式に変換して LAN 3 に接続し、HTTP サーバ 5 を介して相手端末へ送信する電子メール送信機能のいずれかを選択して実行するように構成されている。文書データ作成部 110 は、送信する文書の文書データを作成し、送信部 150 に出力する機能を有する。ここでは、送信する文書を読み取り、この文書の画像データを生成して送信部 150 に出力するように構成されている。

#### 【0010】

データ記憶部 120 は、この文書送信装置が動作する際に用いられる各種データを記憶しておく不揮発性の記憶手段であり、アドレス帳記憶部 121 と、装置情報記憶部 122 と、追加情報記憶部 123 とが設けられている。アドレス帳記憶部 121 は、送信先の名称とこれに対応したファクシミリ送信用電話番号や電子メールアドレスなどが記録されたアドレス帳を記憶している。装置情報記憶部 122 は、自局情報や文書送信装置として動作するのに必要な初期設定値などの装置パラメータを記憶している。追加情報記憶部 123 は、送付票に追加可能な追加情報を記憶している。追加情報記憶部 123 に記憶された追加情報の一例を図 3 に示す。ここで、1 つの追加情報は登録番号、タイトル及びコメントからなり、これらはそれぞれ所定長の記憶領域に格納された文字列で構成されている。

#### 【0011】

操作部 130 は、追加情報記憶部 123 から任意の追加情報を選択する機能を有する操作手段であり、追加情報記憶部 123 に記憶された追加情報を表示する機能を有する表示部 131 と、この表示部 131 に表示された任意の追加情報を選択する機能を有する選択入力部 132 とから構成されている。表示部 131 は、追加情報記憶部 123 に記憶された追加情報を読み出して整形し、登録番号とタイトルからなる追加情報リストを生成して表示するように構成されている。選択入力部 132 は、利用者が選択した追加情報リストの登録番号に基づいて選択された追加情報のコメント部分を追加情報記憶部 123 から読み出して送付票作成部 140 に出力するように構成されている。なお、操作部 130 は、この文書送信装置 1 の操作手段であり、この文書送信装置 1 を使用するための他の操作に



係る機能も備えている。

【0012】

送付票作成部140は、文書データに付する、追加情報記憶部123から選択された任意の追加情報が追加挿入された送付票を作成し、送信部150に出力する機能を有する。ここでは、送信日時、宛先、送信枚数及びこれらを合わせて1つの文章とするための定型文と、送信元とからなる送付票を生成し、追加情報記憶部123から選択された任意の追加情報を追加挿入した後、送信部150に出力するように構成されている。この場合、送付票には追加情報の内、コメント部分の情報が挿入される。なお、ファクシミリ送信機能を使用する場合は、文書枚数に送付票の枚数を加えた数を送信枚数とし、電子メール送信機能を使用する場合は、文書枚数を送信枚数とするように構成することは言うまでもない。

【0013】

送信部150は、文書データ作成部110が作成した文書データに送付票を付して電子的に送信する機能を有する。この送信部150は、ファクシミリ送信機能が選択された場合、送付票作成部140が出力した送付票を画像データに変換した後、文書データ作成部110が出力した送信する文書の画像データと結合して、例えば、グループ3規格のような所定のファクシミリ伝送手順で符号化し、公衆網2に接続して相手ファクシミリへ順次送信するように構成されている。

【0014】

また、電子メール送信機能が選択された場合、この送信部150は、アドレス帳記憶部121に記憶されているアドレス帳を参照して得た送信先の電子メールアドレスと、装置情報記憶部122に記憶されている自局情報を参照して得た発信元の電子メールアドレスを電子メールのヘッダー部に格納し、送付票作成部140が出力した送付票をテキストデータの文字列として電子メールの本文情報のテキストパート部に配置し、文書データ作成部110が出力した送信する文書の画像データに所定の符号化を行い添付ファイルとした電子メールを作成し、LAN3に接続して送信するように構成されている。

【0015】

追加情報登録手段160は、追加情報記憶部123に新たな追加情報を記憶さ

せる機能を有する。ここでは、追加情報記憶部 1 2 3 に記憶された追加情報を HTML (Hyper Text Markup Language) 形式のファイルに変換する機能と、LAN 3 を介して接続された Web ビューワーを有する PC 4 に HTML 形式のファイルに変換された追加情報を閲覧させたり、指定フォーマットで編集させたりする WWW (World Wide Web) サーバ機能と、編集された HTML 形式のファイルを追加情報記憶部 1 2 3 の格納形式にフォーマット変換して追加情報記憶部 1 2 3 に格納する機能とを備えることにより、追加情報の新規登録、削除、内容変更などを行うように構成されている。

## 【 0 0 1 6 】

次に、図 1 に示した文書送信装置の各部の実現手段について説明する。図 4 は、この実施の形態に係る文書送信装置のハードウェア構成を示すブロック図である。同図において、この文書送信装置は、中央演算処理装置 3 0 1 (以後、CPU と記す)、読み出し専用メモリ 3 0 2 (以後、ROM と記す)、ランダムアクセスメモリ 3 0 3 (以後、RAM と記す)、不揮発性メモリ 3 0 4、スキャナ 3 0 5、表示装置 3 0 6、操作パネル 3 0 7、FAX モデム 3 1 0、LAN インタフェース 3 1 1、プリンタ 3 1 2 及び時計回路 3 1 3 を備えており、これらがシステムバス 3 1 5 を介して接続されている。

## 【 0 0 1 7 】

このような構成において、CPU 3 0 1 は、ROM 3 0 2 に格納されたプログラムに基づいて、不揮発性メモリ 3 0 4 に記憶されたデータを参照すると共に、RAM 3 0 3 を作業領域として使用し、この文書送信装置の装置動作を実行する。ここで、ROM 3 0 2 には、操作部 1 3 0 の機能を実現するプログラムと、送付票作成部 1 4 0 の機能を実現するプログラムと、送信部 1 5 0 の機能を実現するプログラムと、追加情報登録手段 1 6 0 の機能を実現するプログラムと、システムバス 3 1 5 を介して接続されたスキャナ 3 0 5、表示装置 3 0 6、操作パネル 3 0 7、FAX モデム 3 1 0、LAN インタフェース 3 1 1、プリンタ 3 1 2 及び時計回路 3 1 3 を制御するプログラムとが記憶されており、CPU 3 0 1 がこれらのプログラムを実行することで文書送信装置として動作する。

## 【0018】

不揮発性メモリ304は、データ記憶部120として用いるものであり、アドレス帳記憶部121と、装置情報記憶部122と、追加情報記憶部123とが設けられている。ここで、不揮発性メモリ304は、例えば、フラッシュメモリやバッテリーバックアップされたスタティックRAMのような読み書きが可能で、電源オフとなっても書き込まれたデータが消失しない半導体メモリで構成されている。スキャナ305は、所定の解像度で文書を読み取り画像データとして出力するものであり、文書データ作成部110として動作する。

## 【0019】

表示装置306と操作パネル307は、それぞれ操作部130を構成する表示部131と選択入力部132の一部として動作する。図5は、操作部130の一例を示す構成図である。ここで、表示装置306は、例えば、液晶表示装置などで構成されており、追加情報記憶部123に記憶された追加情報の内、登録番号とタイトルを表示する。操作パネル307は、テンキー入力部308と機能キー入力部309とを備えている。テンキー入力部308は、0～9の数字キー、“\*”キー及び“#”キーを備えている。機能キー入力部309は、文書送信を開始する“スタート”キー、文書送信を中止する“ストップ”キー、送信方法を選択する機能キー、数字キーを用いて文字データを入力できるようにする機能キーなどを備えている。

## 【0020】

FAXモデム310とLANインタフェース311は、それぞれ送信部150の送信手段として動作する。FAXモデム310は、公衆網2に接続し、相手ファクシミリへのファクシミリデータの送信を行うためのものである。LANインタフェース311は、LAN3に接続し、HTTPサーバ5を介して相手端末に電子メールの送信を行ったり、Webビューワーを有するPC4に指定フォーマットによる追加情報の登録を行わせるためのものである。プリンタ312は、送信する文書のコピーや文書送信装置に登録されている各種情報の印刷を行うためのものである。時計回路313は、送付票の送信日時を示す現在時刻情報を出力するものである。

## 【0021】

次に、この文書送信装置の操作方法について、図6のフローチャートを参照して説明する。利用者は、スキャナ305に送信する文書をセットし（ステップS1）、操作パネル307の機能キー入力部309を操作してファクシミリ送信か電子メール送信かを選択する（ステップS2）。これにより、不揮発性メモリ304からアドレス帳が読み出されて整形され、登録番号と送信先の名称からなる宛先リストとして表示装置306へ入力され、表示装置306に宛先リストが表示されるので、利用者はテンキー入力部308を操作して送信したい宛先の登録番号を入力し、送信先を選択する（ステップS3）。

## 【0022】

次に、利用者は、機能キー入力部309を操作して送付票へ追加情報を挿入するための追加情報挿入モードを選択する（ステップS4）。これにより、不揮発性メモリ304の追加情報記憶部110から全ての登録番号とタイトルが読み出されて整形され、追加情報リストとして表示装置306へ入力され、表示装置306に追加情報リストが表示されるので、利用者は、テンキー入力部308を操作して送付票に加えたい追加情報の登録番号を入力し、追加情報を挿入する（ステップS5）。利用者は、送付票に加えたい追加情報がなくなるまで、ステップS5を繰り返し（ステップS6）、加えたい追加情報がなくなると機能キー入力部309を操作して送付票へ追加情報を挿入するモードを終了させる（ステップS7）。次に、利用者は、機能キー入力部309の”スタート”キーを操作して送信開始を指令する（ステップS8）。このように、この文書送信装置は、簡単な操作で送付票に追加情報を加えることができる。

## 【0023】

次に、この文書送信装置の動作を説明する。まず、文書をファクシミリ送信する場合について、図7のフローチャートを参照して説明する。この場合は、送信開始の指令を受けると、スキャナ305がセットされた文書を一頁ごとに読み取って文書の画像データを生成し、RAM303に格納する（ステップS11）。次に、送付票作成部140が送信日時、宛先、送信枚数及びこれらを合わせて1つの文章とするための定型文と、送信元とからなる必須情報が記入された送付票を

生成する（ステップ S 1 2）。

【0024】

次に、追加情報の有無を判定し（ステップ S 1 3）、追加情報があれば、追加情報を送付票に挿入する（ステップ S 1 4）。次に、ステップ S 1 3に戻り、追加する追加情報がなくなるまでステップ S 1 3とステップ S 1 4を繰り返して送付票を完成させる。図 8 は、追加情報を加えた送付票の一例を示す図であり、同図において、送付票 1 0 は、送信日時、宛先、送信枚数及びこれらを合わせて 1 つの文章とするための定型文と、送信元とからなる必須情報 1 1 及び 2 つの追加情報 1 2 を有している。

【0025】

追加する追加情報がなくなり送付票が完成したら、送付票を画像データに変換し、RAM 3 0 3 に格納する（ステップ S 1 5）。次に、RAM 3 0 3 に格納された送付票の画像データと文書の画像データを読み出して結合し（ステップ S 1 6）、所定のファクシミリ伝送手順で符号化してファクシミリデータを生成し、RAM 3 0 3 に格納する（ステップ S 1 7）。次に、FAX モデム 3 1 0 を介して公衆網 2 に接続し、RAM 3 0 3 に格納されたファクシミリデータを相手ファクシミリへ順次送信する（ステップ S 1 8）。送信が終了したら公衆網 2 との接続を切り、処理を終了する。

【0026】

次に、文書を電子メール送信する場合について、図 9 のフローチャートを参照して説明する。この場合は、送信開始の指令を受けると、スキャナ 3 0 5 がセットされた文書を一頁ごとに読み取って文書の画像データを生成し、RAM 3 0 3 に格納する（ステップ S 2 1）。次に、送付票作成部 1 4 0 が送信日時、宛先、送信枚数及びこれらを合わせて 1 つの文章とするための定型文と、送信元とからなる必須情報が記入された送付票を生成する（ステップ S 2 2）。次に、追加情報の有無を判定し（ステップ S 2 3）、追加情報があれば、追加情報を送付票に挿入する（ステップ S 2 4）。次に、ステップ S 2 3に戻り、追加する追加情報がなくなるまでステップ S 2 3とステップ S 2 4を繰り返して送付票を完成させる。

## 【0027】

次に、RAM303に格納された文書の画像データを読み出して電子メール形式に対応した所定の符号化を行い電子メールの添付ファイルを生成する（ステップS25）。次に、電子メールの本文情報のテキストパート部に送付票をテキストデータの文字列として配置する（ステップS26）。次に、電子メールのヘッダー部に不揮発性メモリ304に記憶されている宛先リストを参照して得られる送信先アドレスと発信元アドレスを配置して電子メールを完成させる（ステップS27）。次に、LANインタフェース311を介してLAN3に接続し、HTTPサーバ5を介して相手端末に電子メールを送信する（ステップS28）。送信が終了したらLAN3との接続を切り、処理を終了する。

## 【0028】

次に、追加情報を追加情報記憶部110に登録する場合について説明する。不揮発性メモリ304には、追加情報登録手段160により追加情報記憶部123に記憶された追加情報をHTML形式のデータに変換したファイルが格納されている。このファイルは、追加情報登録手段160のwwwサーバにアクセスすることにより、LAN3を介して接続されたWebビューワーを有するPC4から閲覧することができる。図10は、Webビューワーを有するPC4から閲覧した追加情報リスト画面を示す図である。この追加情報リストは、登録番号、タイトル及びコメントからなる追加情報が一覧表示されたものである。

## 【0029】

ここで、Webビューワーが表示した追加情報リストの各登録番号には、タグが埋め込まれており、登録番号をマウスでクリックすることによりクリックした登録番号の送付票追加情報編集画面が呼び出されてWebビューワーに表示される。図11は、Webビューワーに表示される送付票追加情報編集画面の一例を示す図である。送付票追加情報編集画面は、タイトルとコメントが入力可能に構成されており、入力されたタイトルとコメントは、wwwサーバを介してHTML形式の追加情報ファイルに入力され、このファイルのデータが書き換えられる。データが書き換えられたHTML形式の追加情報ファイルは、追加情報登録手段160により追加情報記憶部123の格納形式にフォーマット変換されて追加

情報記憶部123に格納される。その際、以前の追加情報は消去される。これによって、追加情報の新規登録、削除、内容変更などを行うことができる。

#### 【0030】

以上説明したように、この実施の形態の文書送信装置は、送信する文書を画像データに変換して相手ファクシミリ又は相手端末へ送信するに際して、自動生成される送付票に使用頻度の高い文言のような情報を選択的に記載することができるので、利用者の利便性や操作性を向上することができる。また、LANを介して接続されたWebビューワーを有するPCから送付票に追加できる情報の閲覧や登録・編集・削除ができるので、必要とする追加情報を利用者が登録することができる。

#### 【0031】

##### 【発明の効果】

本発明によれば、送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部と、この追加情報記憶部から任意の追加情報を選択する操作部とを備え、送付票作成部は、追加情報記憶部から選択された任意の追加情報が追加挿入された送付票を作成するようにしたので、文書送信装置が自動生成し、文書データに付して送信する送付票に使用頻度の高い文言のような情報を選択的に記載することが可能となり、利用者の利便性を向上することができる。

#### 【0032】

また、操作部を追加情報記憶部に記憶された追加情報を表示する表示部と、この表示部に表示された任意の追加情報を選択する選択入力部とから構成したので、表示された追加情報から任意の追加情報を選択することができるため、送付票への追加情報の挿入が簡単になり、利用者の利便性や操作性を向上することができる。また、追加情報記憶部に新たな追加情報を記憶させる追加情報登録手段をさらに備えるように構成したので、新たな追加情報を記憶させることが可能となり、必要とする追加情報を利用者が登録することができる。

##### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態に係る文書送信装置の構成を示すブロック図である。

【図2】 図1の文書送信装置の外部接続状況を示すブロック図である。

【図3】 追加情報記憶部に記憶された追加情報の一例である。

【図4】 図1の文書送信装置のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図5】 操作部の一例を示す構成図である。

【図6】 図1の文書送信装置の操作方法を示すフローチャートである。

【図7】 図1の文書送信装置のファクシミリ送信動作を示すフローチャートである。

【図8】 追加情報を加えた送付票の一例を示す図である。

【図9】 図1の文書送信装置の電子メール送信動作を示すフローチャートである。

【図10】 Webビューワーを有するPCから閲覧した追加情報リスト画面を示す図である。

【図11】 Webビューワーに表示される送付票追加情報編集画面の一例を示す図である。

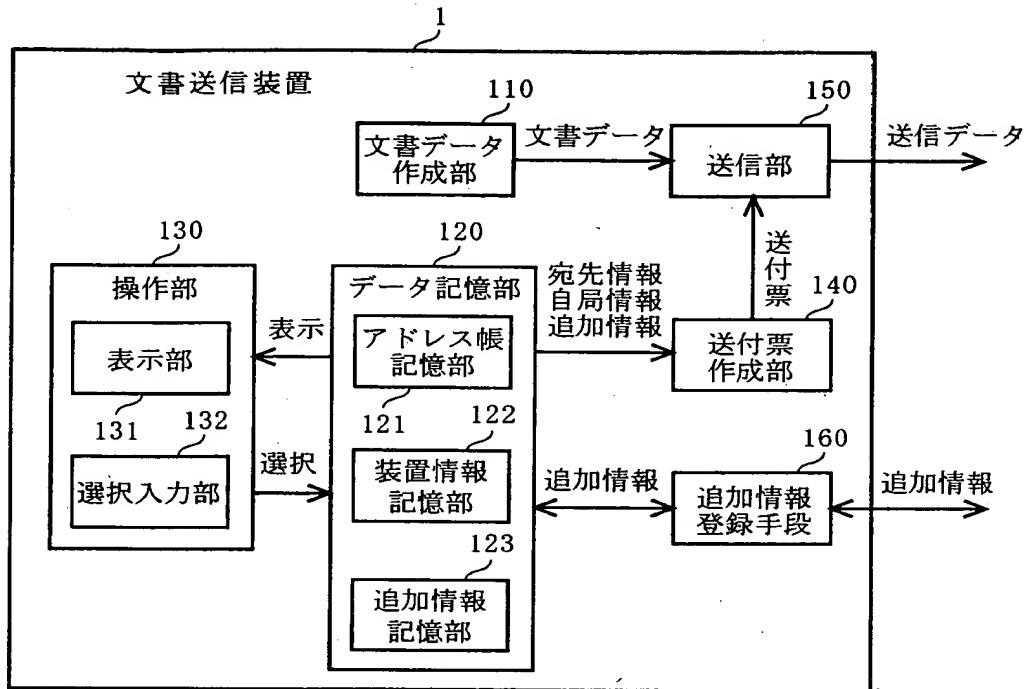
【符号の説明】

1…文書送信装置、2…公衆網、3…LAN、4…パーソナルコンピュータ（PC）、5…HTTPサーバ、10…送付票、11…必須情報、12…追加情報、110…文書データ作成部、120…データ記憶部、121…アドレス帳記憶部、122…装置情報記憶部、123…追加情報記憶部、130…操作部、131…表示部、132…選択入力部、140…送付票作成部、150…送信部、160…追加情報登録手段、301…中央演算処理装置（CPU）、302…読み出し専用メモリ（ROM）、303…ランダムアクセスメモリ（RAM）、304…不揮発性メモリ、305…スキャナ、306…表示装置、307…キー入力パネル、308…テンキー入力部、309…機能キー入力部、310…FAXモデム、311…LANインタフェース、312…プリンタ、313…時計回路、315…システムバス。

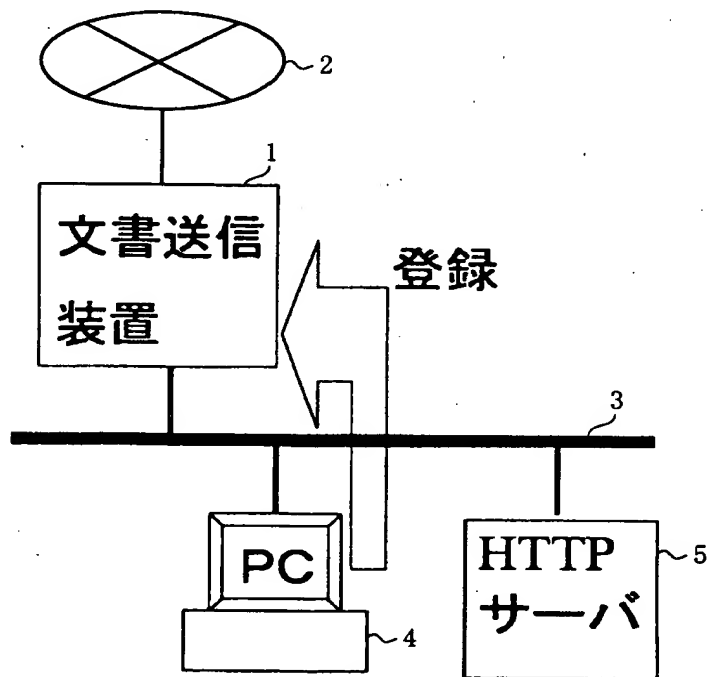


【書類名】 図面

【図 1】



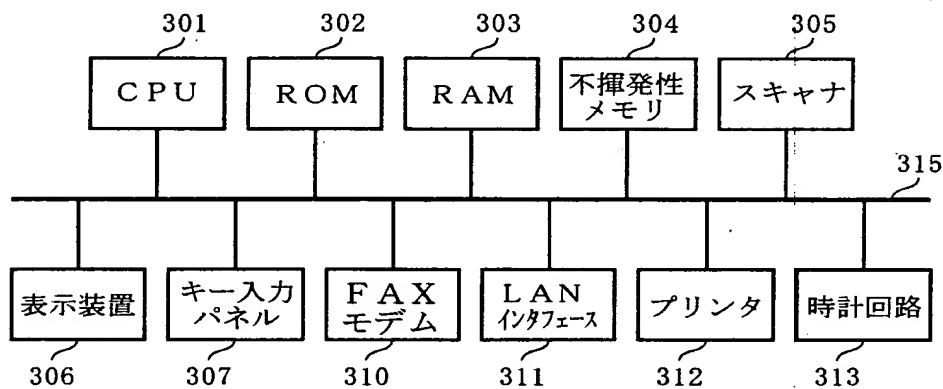
【図 2】



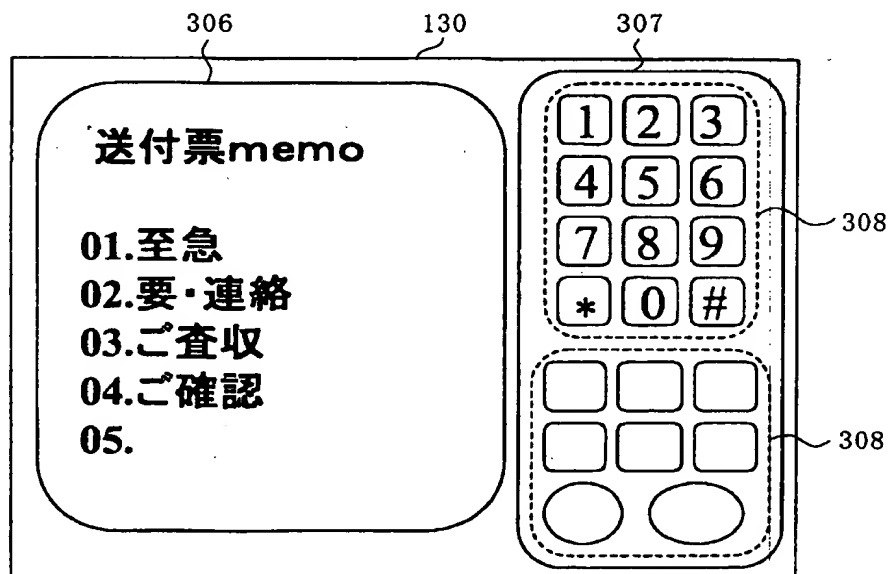
【図 3】

登録番号	タイトル	コメント
01	至急	至急。ご確認ください。
02	要・連絡	折り返しご連絡ください。
03	ご査収	ご査収ください。
04	ご確認	ご確認ください。
05	よろしく	宜しくお願いします。

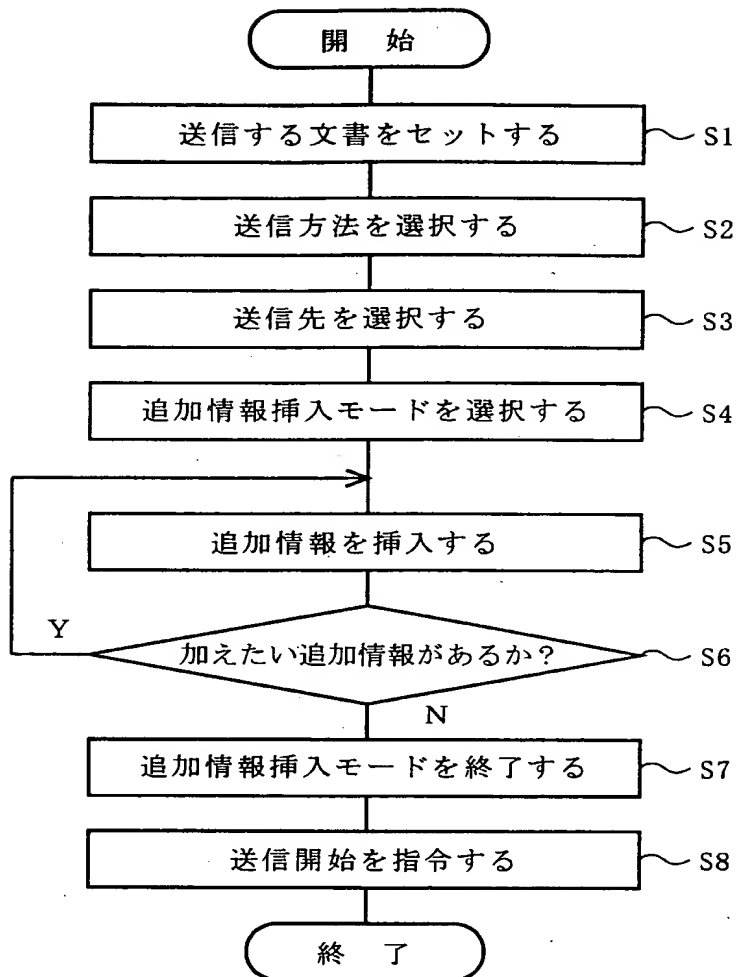
【図 4】



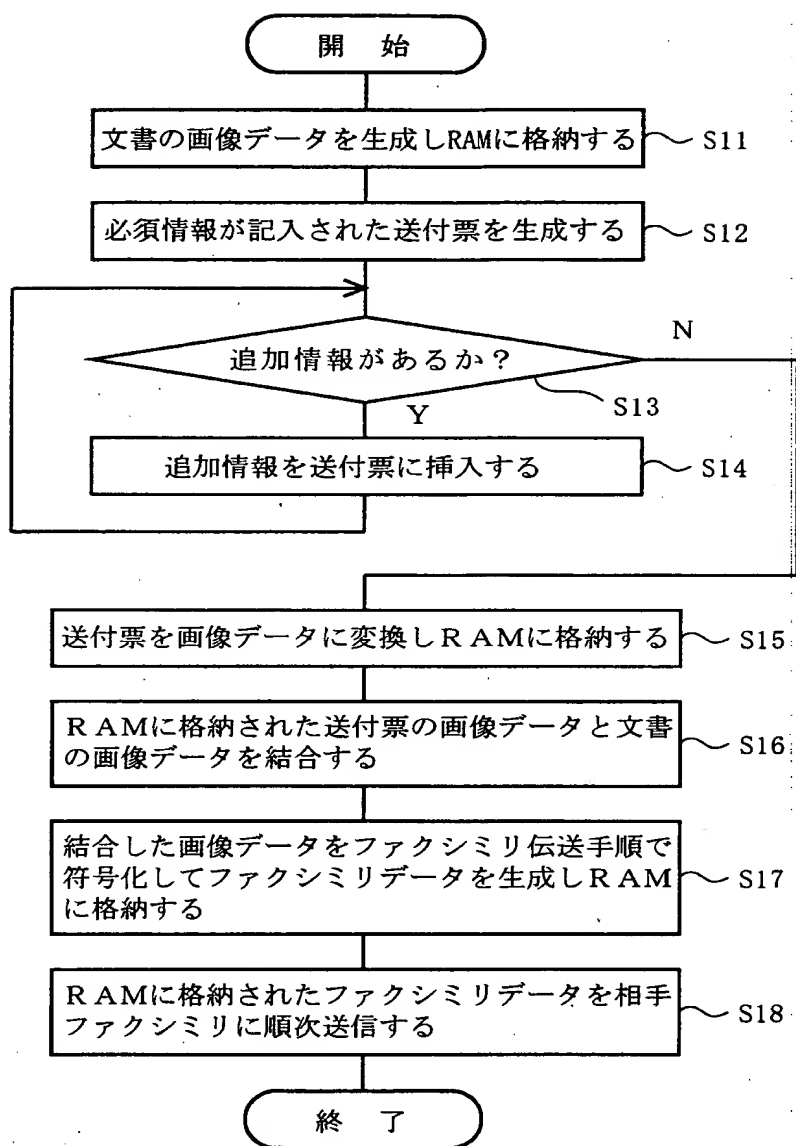
【図 5】



【図 6】



【図 7】

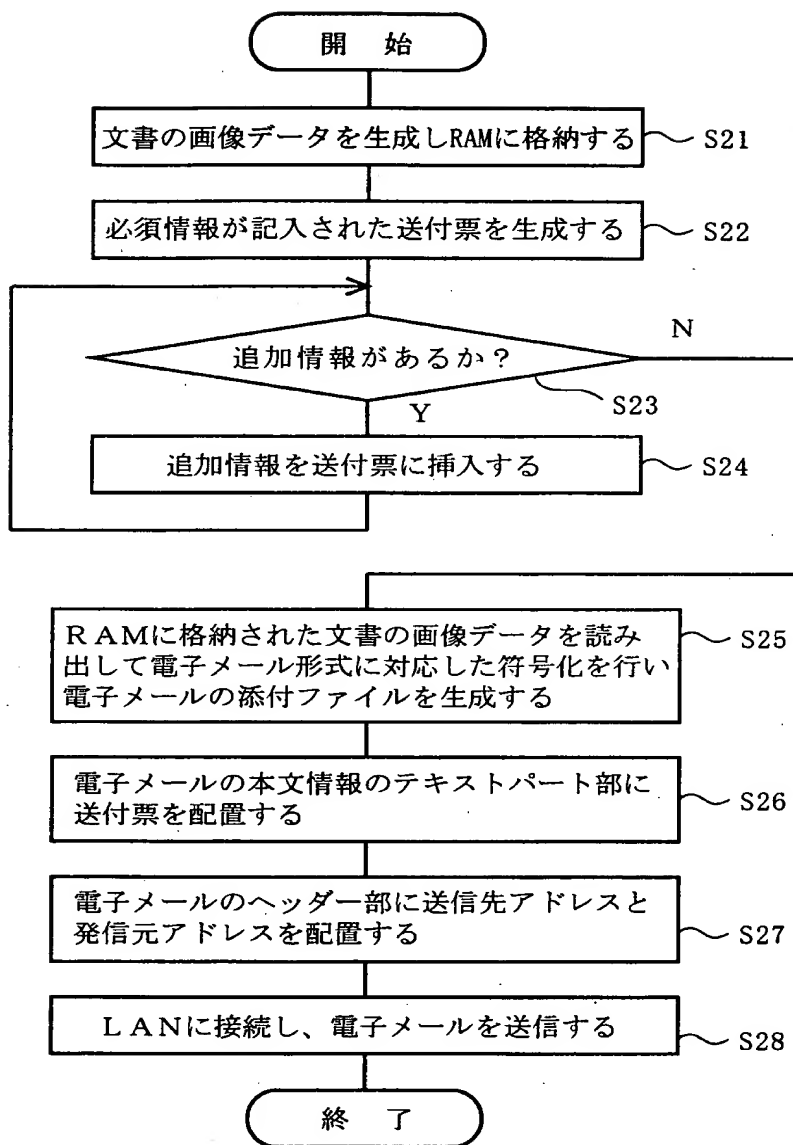


【図8】

The diagram shows a vertical rectangular delivery slip with a folded bottom-right corner. It is divided into four horizontal sections. The top section is labeled 10 and contains the title '送付票' (Delivery Slip), the date and time '平成12年2月1日12:00', the recipient '名無 殿宛に' (To: Anonymous Honorable), and the quantity '5枚 お送り致します。(本頁を含む)' (We will send you 5 sheets, including this page). The second section is labeled 12 and contains the text '至急。ご確認ください' (Urgent. Please confirm). The third section is also labeled 12 and contains '折り返しご連絡ください。' (Please contact us when you reply). The bottom section is labeled 11 and contains the sender's information: 'NEC庶務2課' (NEC General Affairs Section 2) and 'TEL:0123-45-6789'.

送付票 平成12年2月1日12:00 名無 殿宛に 5枚 お送り致します。(本頁を含む)	10
至急。ご確認ください	12
折り返しご連絡ください。	12
NEC庶務2課 TEL:0123-45-6789	11

【図9】



【図10】

追加情報リスト

番号	タイトル	コメント
01	至急	至急。ご確認ください。
02	要・連絡	折り返しご連絡ください。
03	ご査収	ご査収ください。
04	ご確認	ご確認ください。
05	よろしく	宜しくお願いします。

キャンセル OK

【図11】

送付票追加情報 編集画面

登録NO: 01

タイトル: 至急

コメント: 至急。ご確認ください。

キャンセル OK

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 自動生成される送付票に使用頻度の高い情報を選択的に追加する。

【解決手段】 文書データを作成する文書データ作成部 1 1 0 と、文書データに付する送付票を作成する送付票作成部 1 4 0 と、文書データに送付票を付して電子的に送信する送信部 1 5 0 とを備えた文書送信装置 1 において、送付票に追加可能な追加情報を記憶した追加情報記憶部 1 2 3 と、この追加情報記憶部 1 2 3 から任意の追加情報を選択する操作部 1 3 0 とを備え、送付票作成部 1 4 0 は、追加情報記憶部 1 2 3 から選択された任意の追加情報が追加挿入された送付票を作成するようにした。

【選択図】 図 1



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社